



## 中央アジア地域ニュース

### ウズベキスタン：石油・ガス開発の動向 (5月16-18日付「トルキスタン・プレス」)

国営石油ガス会社「ウズベクネフチガス(UNG)」のマジトフ第一副総裁の発言：

1. ウズベク政府の抜本的措置により、2002年から炭化水素燃料の埋蔵量が増加しており、1991年に418億 $m^3$ であったガス生産量は、2007年に1.6倍の650億 $m^3$ になる見通し。
2. 2007年の天然ガス輸出量は、2006年の127億 $m^3$ から14.2%増の145億 $m^3$ となる見通し。2007年のガス輸出先は、ロシア及びカザフスタン(各々130億 $m^3$ )、キルギス(7.5億 $m^3$ )、タジキスタン(7.2億 $m^3$ )。2006年のガス輸出内訳は、ロシア95.8億 $m^3$ 、カザフスタン16億 $m^3$ 、キルギス7.5億 $m^3$ 、タジキスタン7.2億 $m^3$ 。ガス輸出の増加は、国内需要の低下とエネルギー節約措置の実施の結果である。
3. 2000 - 2006年の間に国内で新たな石油ガス埋蔵地が26箇所発見され、うち10箇所はウスチュルト地区(アラル海周辺)にある。国内の炭化水素埋蔵地は合計202箇所が発見されており、うち50%以上で生産が行われ、35%が開発中、残りは探査中である。
4. 天然ガスの輸出及び他国のガス通過輸送拡大を目的とする石油ガス産業開発国家プログラムに従い、2012年までに自己資金で既存のガス輸送システムの再建及び近代化が行われている。特にUNGとロシアのガスピロムとの間の戦略的協力協定(ガスピロムが2003 - 2012年間にウズベクのガスを長期的に購入する規定)に従い、2003年から現在までに1,403億 $m^3$ のトルクメニスタンのガスがウズベク領を通過して輸送されると共に、ロシアのガスエクルポルト向けにウズベクのガス213億 $m^3$ が輸送された。
5. 国内にはフェルガナ、アルティ・アルイク、ブハラに3つの石油精製工場があり、液体炭化水素の精製能力は、合計で年間1,120万トンである。天然ガスの精製は、既存のムバレク・ガス精製工場(年間290億 $m^3$ )と「シュルタンネフチェガス」(年間300億 $m^3$ )で行われている。
6. 投資プログラム実施のための国際協力も積極的に行われ、特に2006年8月に、ウズベキスタンとUNG、韓国石油公団、露ルクオイル、マレーシア国営石油会社、中国国営石油公社のコンソーシアムとの間で生産分与協定が署名され、ウズベク領内のアラル海で探査作業が規定されている。
7. ウズベキスタンと中国は、トルクメニスタンのガスを輸送するためのウズベク領内のパイプラインのルートを確認する予定であるが、同パイプラインを利用してのウズベキスタンのガスの輸出は予定されていない。

本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799